

トップメッセージ



ハルナグループCEO
ハルナビバレッジ株式会社 代表取締役社長

青木 麻生

潤う幸せを世界に
ハルナグループの挑戦は続く

1996年の創業から今年30年目を迎えます。父 青木清志が掲げた顧客志向を経営の核として、顧客評価に値する品質とは何かを問い、顧客思考を超える製造とは何かを考え、顧客歓喜の果実を己の収穫とする経営理念の実現を目指して、走り続けてきました。

群馬県高崎の地から30人ほどでスタートした飲料事業が、今では600人のメンバーにまで仲間が増え、群馬・谷川、和歌山、長野、東京、タイ・バンコクまで生産・販売拠点が拡大し、日本のみならず、アジアの国々へ向けて、年間6,000を超える様々なブランドや新たな飲料をプロデュースする活動に挑み続けています。

また、2025年2月欧州初のグループ拠点、Haruna France SASを設立。日本の伝統文化であるお茶とフランスのカフェ文化のマリアージュをテーマにした新たな店舗を、今夏パリにオープンを予定しています。

さて、清涼飲料市場においては、インフレ進行による消費者の節約志向を背景に、価格訴求型商品と健康価値・環境配慮など消費の二極化が更に進み、大手小売各社は独自のPB(プライベートブランド)飲料を重要な戦略商品と位置づけ、品質や価値を高めた結果、市場は拡大し、成長してまいりました。

その中でも、ミネラルウォーターは1人当りの年間消費量が41.6リットルと過去最高となり、ミネラルウォーターは生活のあらゆるシーンで飲用され、欠かせない飲料として再評価されてきています。

このような状況下、当社グループは変化に柔軟かつスピーディーに対応し、One to Oneマーケティングを追求。新規採用商品も100アイテムを超えるなど、お客様の顕在的・潜在的ニーズを捉えるとともに、既存商品についてもブラッシュアップを実施することで顧客価値の向上に努め、価値に見合った価格提案を実行してまいりました。

また、自社8工場では安心して止まらない生産を継続するとともに、全国のパートナー工場と協力した全体最適な供給体制と高い品質管理を維持し、年間6,000万ケースの飲料を生産可能なサプライチェーンを構築してまいりました。

2023年に新たに設立した、長野県北アルプス安曇野の天然水を製造するハルナウォーターについては、2024年度に生産性の大幅な向上を図る設備投資を実施しこれまで培ってきた高い品質レベルのみならず、年間1,200万ケース以上の生産体制を確保することが可能になりました。

人財資本経営を基盤に サステナブルな経営を目指して

ハルナグループの最重要な経営課題である人財投資につきましても、業績達成の牽引力である社員に対し、3年連続のベースアップを含め、5.6%の昇給や、1人当たり年間平均160万円の賞与を支給することができました。

しかし、創業30年の節目である「ハルナビジョン2026」のその先も、サステナブルな経営を目指していくことを真剣に考えた結果、未来の働き方や自然環境・社会との共生、そしてハルナならではのイノベーションを創造する新たな場として、創業の地・高崎に「ハルナイノベーションセンター」を設立し、2024年12月に稼働をスタートしました。

また、各拠点のオフィスや職場においてリノベーションを実施し、社員が快適かつ、コミュニケーションやチームワークが活発になる職場環境を整えました。2025年は、グループメンバーとともに、下記のウェルビーイングの実現に向けた取り組みを実行していきます。

ウェルビーイング5つの要素

キャリア ウェルビーイング

仕事や私生活の
キャリアアップ



ソーシャル ウェルビーイング

信頼できる
人間関係



ファイナンシャル ウェルビーイング

報酬・福利厚生
など経済面



フィジカル ウェルビーイング

身体・健康面と
モチベーション



コミュニティ ウェルビーイング

地域社会・顧客・
取引先等との
つながり交流



▲ 北アルプスを望む株式会社ハルナウォーター



ハルナイノベーションセンター



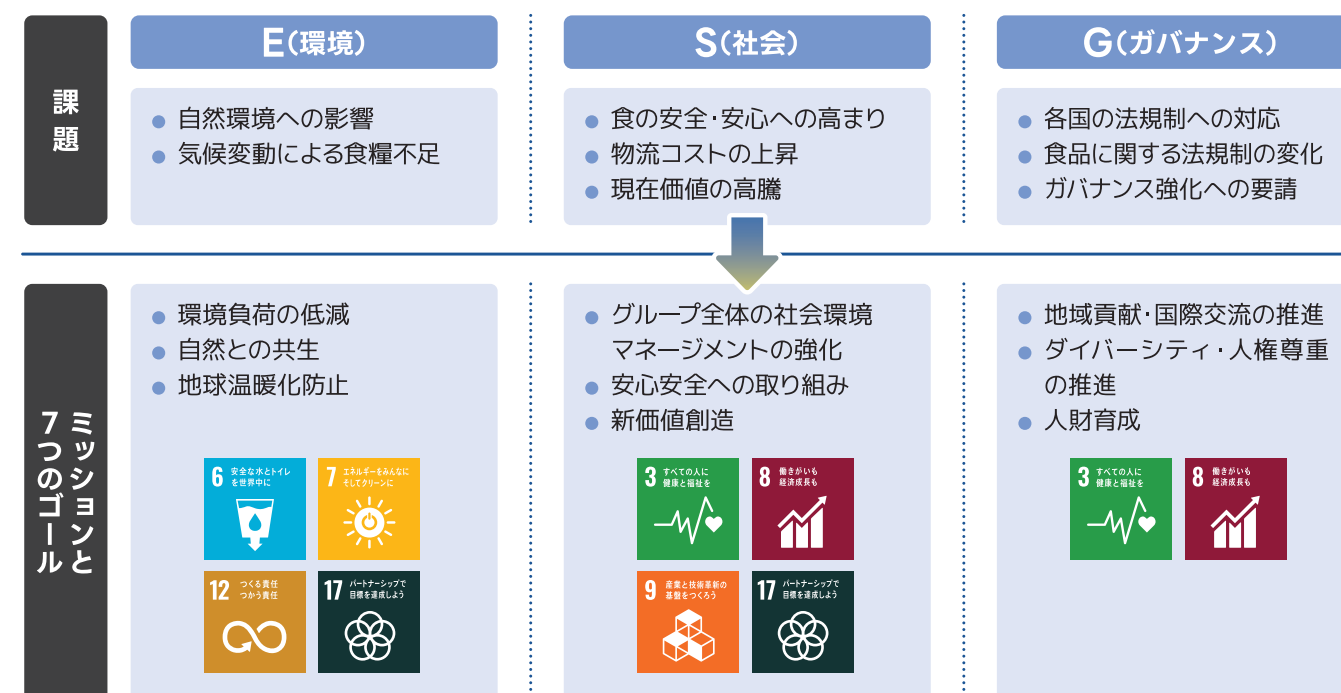
2024年12月に稼働したハルナイノベーションセンターをハブとし、社内外のコラボレーションやコミュニケーションを促進し、社員一人ひとりが創造性を発揮できる環境の中で、顧客とのイノベティブな商品開発につながる顧客価値の創出に取り組んでまいります。

- 顧客の顕在的・潜在的ニーズを捉えた、バリューポジションを明確にした独自の価値を提供。
- 食品分野にチャレンジする「Haruna CO-Create」による新規ビジネスモデルの構築。
- 社員の創造性と知的好奇心を促すコワーキングの推進。
- ギャラリーとカフェテリア施設の一般開放による、地域社会との共生。

ハルナグループのSDGsの取り組み

ハルナグループは、2018年の経団連入会を契機に、持続可能な社会の実現を目指し、国連が定める17の開発目標の中から、当社に最も重要と考えられる下記の7つのゴールの達成を目指し、取り組みを続けています。

ハルナグループのサステナビリティ価値創造プロセス



ハルナグループは、これからも皆様が感動する斬新な飲み物から、日々の生活に欠かせないミネラルウォーターまで、価値ある商品を創り続けていくことで、社会に貢献し、持続可能な成長を目指していきます。

青木 麻生

沿革ハルナグループのあゆみ

独創性ある飲料プロデューサーとして
ステークホルダーの皆様から大いなる期待と満足を得られる企業へ

受託業務を主として事業を拡大

イノベーションと挑戦で新商品を生み出す

草創期 1996-2000

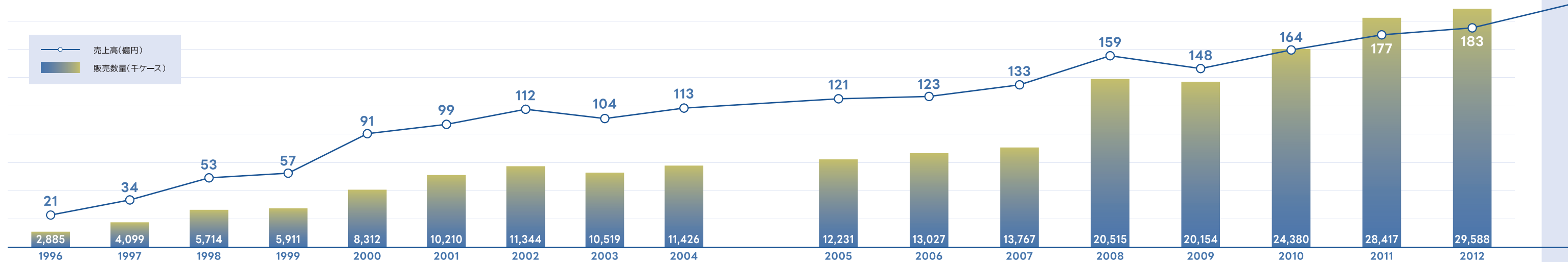
顧客拡充・積極的設備投資による量的拡大と小型ペットボトル解禁による成長機会の利用

草創期 2001-2007

人財教育の徹底とエネルギー対策・環境問題への取り組み

変革期 2008-2012

M&Aによる事業基盤の拡充と人財育成



1996

- 平成8年2月23日に資本金30百万円でハルナビパレヅ株式会社を創業者青木清志が設立
- 第一工場稼働
- 東京にマーケティング本部設立



▲ ハルナビパレヅ株式会社を設立

1997

- ハルナビパレヅ研究所設立
- 第二工場稼働

2000

- 第三工場稼働



▲ 第三工場

2001

- 第三工場がJAS工場として認定

2002

- リサイクルシステム協議会発足
- 新日本監査法人による第7期決算調査及び指導
- 四半期報告会を開催
- HACCP認証取得に向け取り組み

2003

- 環境会計の導入
- FOODEX出展

2004

- 人事基本理念制定
- 物流関連ハルナロジスティクス(株)設立

2005

- 製造者養成ビジネススクール開講
- 緑地公園「ハルナコミュニティガーデン」を整備
- 創業10周年記念会



▲ 製造者養成ビジネススクール



▲ 創業10周年記念会

2006

- ハルナエコロジー(株)、ハルナロジスティクス(株)に資本金5千万円に増資
- 全工場にてHACCP承認
- 国際食品飲料展FOODEX JAPAN出展

2007

- ハルナエコロジー(株)ウェルネスサイエンス研究所発足
- 合併会社ハルナヨーロッパ設立
- ハルナグループ全体会議開催
- タニガワビパレヅ株式会社始動

2008

- ハルナインテリジェンスネットワーク株式会社設立
- 群馬県初のプロ野球チーム群馬ダイヤモンドベガサスをパートナーシップスポンサーとして応援
- タニガワビパレヅ(株)天然ガス設備稼働



▲ タニガワビパレヅ株式会社

2009

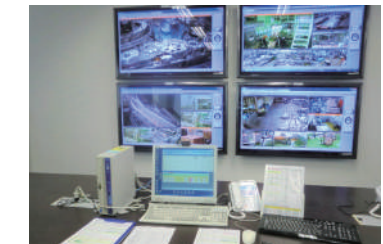
- ハルナロジスティクス(株)ハルナビパレヅ(株)へ吸収合併

2010

- ハルナグループ組織再編スタート
- ハルナマーケティング(株)設立
- 「ハルナビジョン2015」公表
- ハルナグループ企業行動憲章・企業行動規範制定
- 創業15周年記念誌「はじめなければはじまらない」発刊
- ハルナエコロジー(株)よりHARUNA(株)へ社名変更

2011

- ハルナビパレヅファクトリー(株)がタニガワビパレヅ(株)吸収合併
- ハルナビパレヅ(株)ワイエスロジスティクス(株)の株式100%を取得し、ハルナロジスティクス(株)へ社名変更
- プラントシステムイノベーション「見える化」にてコントロール室完成



▲ コントロール室完成

2012

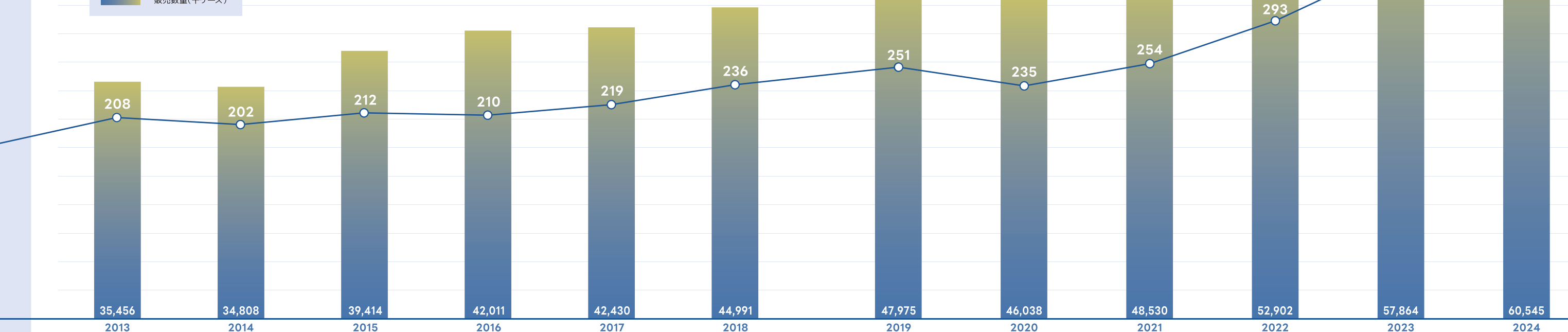
- ハルナ工場のエネルギー転換(A重油から都市ガスへ)

イノベーションと挑戦で新商品を生み出す

第二変革期 2013-2018

M&Aによる事業基盤の拡充とアジア事業の展開

売上高(億円)
販売数量(千ケース)



2013

- HARUNA Asia (Thailand) Co.,Ltd. 設立

2014

- ビジネススクール榛名山麓研修所開所
- ハルナジョイパック
自社ブローボトル成型機導入、稼働
- HARUNA 国際食品飲料展
FOODEX Japanに出展



▲ ビジネススクール榛名山麓研修所開所



▲ 展示会の風景

2015

- 国際的食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」取得
- 創業者青木清志が日刊工業新聞社主催の
第33回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞

2016

- ハルナプロデュース株式会社設立

2017

- 経済産業省選定「地域未来牽引企業」に選定

2018

- 和歌山プラントLNGサテライト設備の導入
- スペイン販売会社と資本提携販売を開始
- SDGs 私債発行に伴う群馬県への県民基金への寄付



2019

- ハルナグループSDGs行動宣言
- 危機管理対策委員会を発足し、
感染症対策や災害対策を強化
- 群馬テレビ局との共同制作オリジナル
プロモーションビデオ制作
- 高崎ディストリビューションセンター完成
ハルナトータルリワード運用開始
一般財団法人榛名美術設立

2020

- ハルナトータルリワード運用開始
- 一般財団法人榛名美術設立
- 創業25周年記念「Haruna Book」制作
- ぐんま緑の県民基金へ寄付



▲ ディストリビューションセンター

価値ある商品を生産する

未来へ向けて 2019-

企業価値の持続的発展に向けて

2021

- お客様満足度調査を開始
- 組織編成により2本部制から4本部制へ
- 社内公募企画によりキャッチコピー決定
- eラーニング制度の導入

2022

- ウクライナへミネラルウォーターを支援
- JR東日本クロスステーション様との提携
工場にて天然水ボトリング事業がスタート
- TOKYO R&D LAB開設



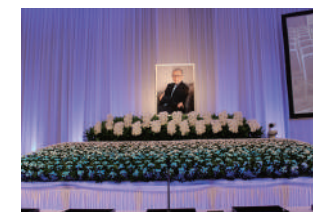
▲ TOKYO R&D LAB



▲ JR東日本クロスステーション様との提携工場オープン

2023

- 東京アート(株)ミネラルウォーター事業の
事業譲渡契約締結により(株)ハルナウォーター設立
- 創業者青木清志のお別れの会を執り行った
- ハルナウォーターが松川村と災害時協定を締結
- 能登半島地震へのミネラルウォーター支援
- 新Harunaロゴデザインの刷新および商標登録完了
- 社内公募企画によりハルナグループのキャラクターが決定



▲ 創業者青木清志のお別れの会

Haruna

▲ 新Harunaロゴデザイン



▲ ハルナグループのキャラクター
「ブルーベリー」

2024

- 持続的成長に向けた組織改革を実施
- 高崎・タニガワ・和歌山・松川
4プラントに太陽光発電を設置
- 安曇野の自然が育んだ天然水550ml
モンドセレクション金賞受賞
- ハルナイノベーションセンター新設
- 榛名美術記念公園リニューアル



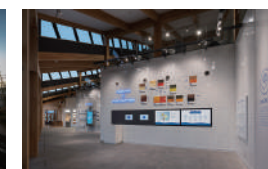
▲ 安曇野の自然が育んだ天然水550ml



▲ 榛名美術記念公園



▲ ハルナイノベーションセンター外観



▲ ハルナイノベーションセンターギャラリー

2025

- 各拠点オフィスリノベーション実施